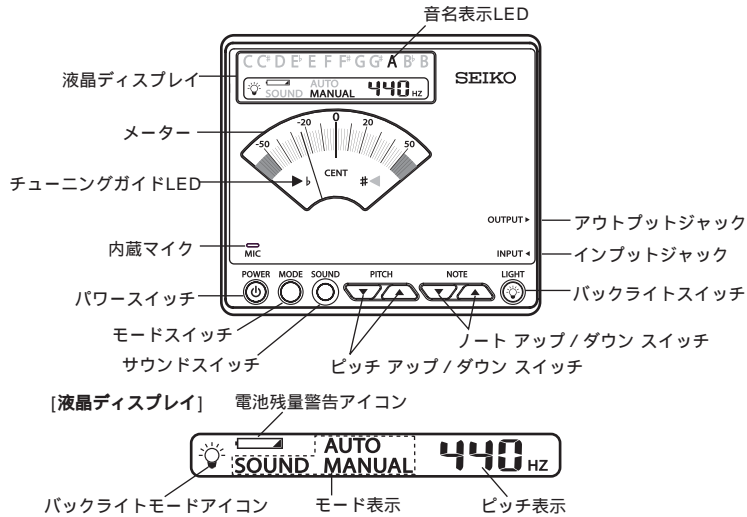


SEIKO CHROMATIC TUNER SAT1100

取扱説明書

各部の名称



ご使用前に

1. ハードカバーを取り外します。

まず、ハードカバー下部のツメ (b) を2箇所取り外し、チューナー上部 (A) のくぼみから突起 (a) を片側ずつ取り外します。

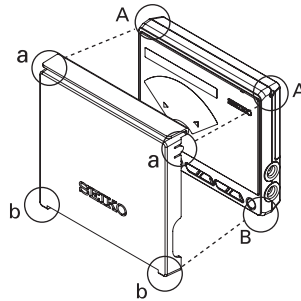
(取り付けるときは逆の要領で、まず上部 (A - a) を片側ずつはめてから、下部 (B - b) をはめ込んでください。)

「ハードカバーの便利な使い方」については、下記をご参照ください。

2. 電池ふたを開け、電池の包装を取り除いて極性 (+・-) を間違えないよう、電池をセットしてください。

付属の電池は機能確認用ですので、寿命が短い場合があります。

下記「電池交換の方法」をご参照ください。



- 取り付けるときはAから
- 取り外すときはBから

チューニングの方法

電気・電子楽器をチューニングする場合や、別売のコンタクトマイク (STM10 / STM20) を使用してチューニングする場合は、プラグをインプットジャックに接続します。インプットジャックにプラグが接続されているときは、内蔵マイクはご使用になれません。

オートモード (AUTO)

自動チューニングするモードです。楽器を鳴らすと、その音にいちばん近い音名が表示され、その音に対して高いか低いかを針で示します。

1. パワースイッチを押して電源をオンにします。
2. モードスイッチを押して、オートモード (AUTO) を選びます。
3. 楽器を単音で鳴らします。内蔵マイクでチューニングする場合は、なるべく静かな環境で、本製品の近くで楽器を鳴らしてください。
4. 合わせたい音名が表示されるように楽器をチューニングしてください。
5. メーターの針が0セントに合うように楽器をチューニングします。楽器音と表示音のズレが ± 3 セント以内になると、チューニングガイドLEDが2個同時に点灯します。

マニュアルモード (MANUAL)

あらかじめ音名をセットしてチューニングするモードです。楽器を鳴らすと、セットした音名に対して高いか低いかを針で示します。

1. パワースイッチを押して電源をオンにします。
2. モードスイッチを押して、マニュアルモード (MANUAL) を選びます。
3. ノート アップ () / ダウン () スイッチを押してチューニングしたい音名 (ノート) をC - Bから選択します。
4. 楽器を単音で鳴らします。内蔵マイクでチューニングする場合は、なるべく静かな環境で、本製品の近くで楽器を鳴らしてください。
5. メーターの針が0セントに合うように楽器をチューニングします。楽器音と表示音のズレが ± 3 セント以内になると、チューニングガイドLEDが2個同時に点灯します。

サウンドモード (SOUND)

チューナーから発音される基準音を耳で聞いて楽器をチューニングします。

1. パワースイッチを押して電源をオンにします。
2. サウンドスイッチを押してサウンドモードにします。
3. ノート アップ () / ダウン () スイッチを押してチューニングしたい音名 (ノート) をC - Bから選択します。(発音範囲: C4 - B4)
4. 発音される基準音に合わせて楽器をチューニングします。

サウンドモードを解除するときは、サウンドスイッチまたはモードスイッチを押します。

基準ピッチの変更

基準ピッチを変更する場合は、ピッチアップ () / ダウン () スイッチを押して変更します。(設定範囲: A4 = 410 ~ 450 Hz)

バックライト機能

バックライトスイッチを押すと、暗い場所でのチューニングに便利なバックライトモードになります。液晶ディスプレイのバックライトモードアイコンが表示されます。

バックライトモードがオンの時は、スイッチを入力すると液晶ディスプレイが5秒間点灯します。

また、オートモード/マニュアルモード時は楽器音の入力があると液晶ディスプレイおよびメーターのバックライトが5秒間点灯します。

バックライトスイッチを再度押すか、電源をオフにするとバックライトモードは解除されます。バックライトモードでは、電池の消耗が早くなります。

オートパワーオフ機能について

電池の消耗を防ぐため、スイッチまたは楽器音の入力がなくなってから一定時間（オートモード/マニュアルモード：約20分、サウンドモード：約10分）経過すると自動的に電源がオフになります。

再度電源をオンにする場合はパワースイッチを押してください。

メモリーバックアップ機能について

本製品では、下記の項目において一度設定した情報は、電源をオフにしても次に設定を変えるまではメモリーされています。なお、[]内は出荷時の初期設定を表します。

また、電池を交換した際にはリセットされて初期状態になります。

- | | |
|----------|---------|
| 1. モード | [オート] |
| 2. 基準ピッチ | [440Hz] |
| 3. 音名 | [A] |

バイパス機能

電源のオン/オフにかかわらず、インプットジャックに接続された楽器の信号を出力します。

アウトプットジャック使用時のご注意

他の機器と接続する時は、誤動作やアンプ、スピーカーの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を最小にし電源を切った状態にしてから、正しく接続してください。

正しく接続したら、接続された機器の音量を最小にしてから本製品の電源を入れ、その後各機器の電源を入れてください。

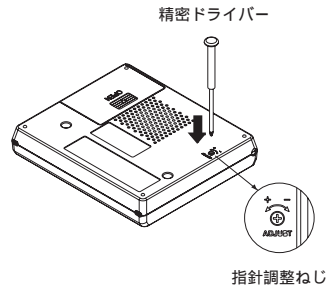
音量が最小でも、電源を入れるときに音がすることがありますが、故障ではありません。演奏中はノイズの発生を防ぐため、本製品の電源をオフにしてください。

指針調整の方法

温度変化、落下衝撃、経年変化等でメーター針の0セント位置がずれることがあります。メーター針の0セント位置は、調整が可能です。

1. 電源をオフの状態にし、ピッチアップ()スイッチとピッチダウン()スイッチを同時に押しながらパワースイッチを押すと、指針調整モードになります。
2. 針の指す位置が0セントからずれている場合は、先端の細いドライバーを使って本体裏面の指針調整ねじを回し、0セント位置に合うよう調整します。
3. 調整が終わったら、パワースイッチを押して一旦電源をオフにし、再び電源をオンにします。

指針を調整するときは必ず時計用等の精密ドライバーを使用し、力を入れすぎないように回してください。サイズの合わないドライバーのご使用や無理なねじの押し込み等は故障の原因になります。



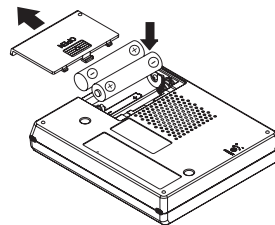
電池交換の方法

電池が消耗してくると電池残量警告アイコンが点滅して電池交換の時期をお知らせします。電池が消耗したままお使いになると誤動作の原因となりますので、お早めに電池を交換してください。

1. 電源を必ずオフの状態にします。
2. 本体裏面の電池ぶたを矢印の方向にスライドさせずします。
3. 単4乾電池(2本)を、極性を間違えないように正しくセットします。
4. パワースイッチを何度か押して、正常動作することを確認してください。

電池交換は2本同時に行ってください。なるべく同じメーカーの同種類のものをお使いください。

古い電池は、各自自治体の指示に従って廃棄してください。

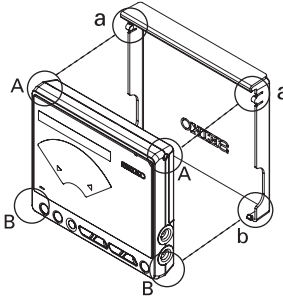
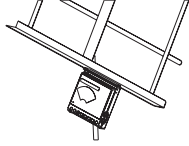


ハードカバーの便利な使い方

ハードカバーを裏返し、本体裏面に取り付けて (A - a) 角度をつけるとスタンドになります。



ハードカバーを裏返して裏面に取り付けるとハードカバー上部のスリットで譜面台に差し込むことが可能です。



- 取り付けるときはAから
- 取り外すときはBから

譜面台取り付け時は落下防止のため、スリットを譜面台に深く差し込んでお使いください。譜面台の形状によっては取り付けられません。不安定な場合は、取り付けを中止してください。無理な取り付け・取り外しは破損の原因となりますのでご注意ください。

注意事項

本製品のメーターは非常に精密に作られているため、強い磁気に近づけたり、強い衝撃を加えたりするとメーターが壊れることがあります。取り扱いには十分ご注意ください。

周囲の環境のノイズや周囲の電子機器などから発生するハムおよびノイズを拾い、表示部がチューニングときのような表示をすることがありますが、故障ではありません。楽器の音を出すと、正確にチューニングできます。

製品仕様

[モード]	: オートモード / マニュアルモード・サウンドモード
[チューニング範囲]	: A0 (27.5Hz) ~ C8 (4186.0Hz) (A4=440Hz時)
[基準音発振]	: C4 ~ B4 (12音)
[調律精度]	: ±1セント
[基準ピッチ]	: A4=410Hz ~ 450Hz (1Hz刻み)
[付加機能]	: オートパワーオフ、バックライト、メモリーバックアップ、 電池残量警告表示、指針調整機能
[電源]	: 単4乾電池 × 2本 (3V)
[端子]	: インプットジャック(6mm)、アウトプットジャック(6mm)
[寸法]	: 105.5 (W) × 92 (H) × 19.3 (D) mm (本体のみ; 突起部含まず) 109.5 (W) × 103 (H) × 21.5 (D) mm (ハードカバー含む)
[重量]	: 150g (電池含む)、170g (電池・ハードカバー含む)
[付属品]	: ハードカバー 1個、単4乾電池 (機能確認用) × 2本、取扱説明書

仕様および外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。